

令和2年度

環境経営活動レポート



つなげよう

この美しい自然環境を未来世代に

対象期間：令和2年9月～令和3年8月

発行年月日：令和4年1月16日

有限会社新菱和運送

目 次

- 1 環境経営方針
 - 2 事業概要 & 認証登録範囲
 - 3 実施体制
 - 4 環境経営目標
 - 5 環境経営活動計画
 - 6 環境経営目標の実績
 - 7 環境経営活動計画の取組結果とその評価、次年度以降の取組内容
 - 8 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無
 - 9 代表者による全体評価と見直し結果
 - 10 情報公開事項
-

環境経営方針

<環境理念>

有限会社新菱和運送は、昭和37年に軽トラック1台から廃棄物運搬業を創業し、以降、地域のお客様のニーズに応えるべき地域密着型の企業を目標とし、一般廃棄物・産業廃棄物の収集運搬業、一般貨物運送業を営んでまいりました。東日本大震災では、弊社も壊滅的な被害を受け廃業の危機に立たされながらも、様々な支援を頂き地域と共に復興することができました。

当社は、サービスを通して、この地域の美しい自然環境を将来世代に引き継いでいくために、廃棄物の適正処理が地域の環境保全に寄与すると認識しております。

このため、収集運搬に係る事業活動に際し、関連法規類の遵守、環境負荷の低減、及び環境保全活動に継続的に取り組んでまいります。

<行動指針>

1、収集運搬業及び処理業に使用する車両は環境配慮タイプを適切に使用して、環境に配慮した収集運搬を実施します。

- * 出来る範囲で、低騒音・振動・低エネルギーの車輛の使用に努めます。
- * オイル等の流出防止に努めます。
- * 粉じんの飛散、汚水流出の防止に努めます。
- * 廃棄物の適正収集運搬を実施します。

2、廃棄物の適正分別を、お客様に提案し、お客様の廃棄物のリサイクル率向上をサポートします。適正処理業者をお客様に紹介し、不法投棄や環境汚染の防止に努めます。

3、社内における省エネ、廃棄物削減、節水及びグリーン調達に努めます。

4、事業活動に関連する法規制は、確実に遵守することを誓約いたします。

5、地域活動、環境保全活動への参加、環境活動レポートの公表など、地域との環境コミュニケーションに努めます。特に、災害対応に迅速に対応するため車両類の整備・管理を徹底します。

制定日：平成29年8月31日

改訂日：令和3年8月31日

【2017年度版移行に伴い改定】

有限会社新菱和運送

代表取締役社長 宮田 キナエ

2 事業概要 & 認証登録範囲

1 名称及び代表者名

有限会社新菱和運送
代表取締役社長 宮田 キナエ

2 所在地

本社事務所: 岩手県釜石市上中島町4丁目7番3号

事業所: 岩手県釜石市松原町2丁目34,35番1

3 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 課長 鈴木善太郎 TEL: 0193-23-3888
担当者

4 事業活動の内容

一般廃棄物収集運搬業、産業廃棄物収集運搬業

5 事業規模

資本金	500	百万円	令和2年度実績	
廃棄物受託量 t	30年度		令和1年度	令和2年度
一般廃棄物収集運搬 t	5,157		4,895	4,795
産業廃棄物収集運搬 t	507		306	370

項目	本社事務所	事業所
従業員	5名	23名
敷地面積	103m ²	1571m ²
延べ床面積	114.58m ²	51.34m ²

6 認証登録範囲

全サイト・全組織・全活動が認証登録範囲

7 営業範囲

- ・一般廃棄物収集運搬(釜石市・大槌町)
- ・産業廃棄物収集運搬(岩手県: 燃え殻、汚泥、廃油、廃アルカリ、廃酸、廃プラスチック、紙く、繊維くず、動植物性残さ、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類)
- ・特別管理産業廃棄物(岩手県: 廃油、感染性産業廃棄物)

8 社歴

昭和37年12月29日

有限会社新菱和産業 設立 資本金500万円

昭和59年4月24日

有限会社新菱和運送に社名変更

平成2年2月13日

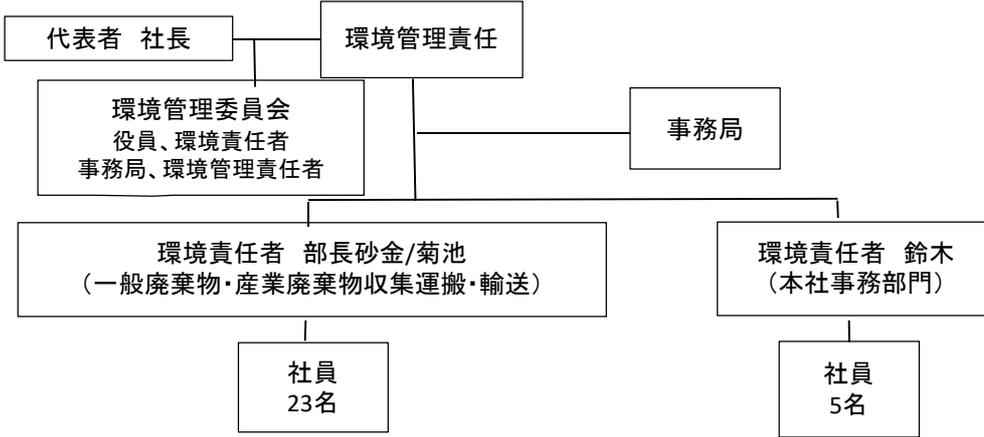
岩手県 産業廃棄物処理業 収集運搬業許可取得

平成5年7月20日

岩手県 特別産業廃棄物処理業 収集運搬業許可取得

3 実施体制

1 組織



2 役割・責任・権限

	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任。 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。 ・環境経営方針を定め、社員に周知する。 ・環境管理責任者を任命。 ・代表者による全体の評価と見直しを実施。 ・実施体制の構築 ・課題とチャンスの明確化
環境管理委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・委員長は社長とし、環境管理責任者が召集する。 ・環境管理責任者の提案を審議し、決定事項を環境責任者は各部門で実施する。 ・内部監査の代りに、計画の進捗状況・ガイドラインへの適合状況を審議し、不適合・不具合が有る場合は代表者、環境管理責任者に是正を勧告する。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理。 ・環境活動の取組結果を代表者及び環境管理委員会へ報告。
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐。 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口。 ・環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付) ・取組データの集計、取りまとめ及び文書記録類の管理。
環境責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・担当部門について環境経営システムを実施し、維持する。 ・省資源、省エネ、節水等の奨励・実施・確認・是正。 ・従業員に対する教育訓練の実施
全社員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚し、能力向上に努める。 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

4 環境経営目標

1 主な環境負荷の実績

表1、主な環境負荷等の実績

項目	単位	基準値			
		平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	150,333	145,222	156,040	158,763
購入電力使用量	k w h	16,465	16,809	16,873	17,023
ガソリン使用量	L	4,917	4,592	4,868	4,747
軽油使用量	L	48,982	47,311	51,756	52,709
灯油使用量	L	421	322	129	301
L P G使用量	m ³	0	0	0	0
産業廃棄物排出量(自社)	t	3.0	8.9	4.13	4.13
一般廃棄物排出量(自社)	t	1.00	0.77	1.01	1.28
総排水量	m ³	127	124	151	124
受託廃棄物収集運搬(一般+産廃)	t	5,656	5,664	5,200	5,164
顧客への提案	行動目標	問合せ対応・排出先への提案等			
環境苦情	回	0	0	0	0
グリーン購入	種類	10	10	10	10
地域貢献	回	3	3	3	3

注：排水量の測定はしていないので、水使用量から散水量を削減して求めた。

購入電力の二酸化炭素排出係数は環境省報道発表(令和2年1月7日公表)東北電力の実排出係数 0.523kg-CO₂/kwhを使用。

2 環境経営目標の設定

当社では、令和1年度を基準年度として中期及び単年度の環境目標を、それぞれ表2のとおり設定し、環境活動に取り組んでおります。

表2 環境目標

項目	基準年度実績値		中期目標(内単年度目標)			
	実績値	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
二酸化炭素排出量	156,040	kg-CO ₂	153,052	151,580	150,019	148,503
購入電力使用量	16,873	kwh	16,789	16,789	16,620	16,536
ガソリン使用量	4,868	L	4,771	4,722	4,673	4,625
軽油使用量	51,756	L	50,721	50,203	49,686	49,168
灯油使用量	129	L	126	125	124	123
L P G使用量	0	m ³	0	0	0	0
産業廃棄物排出量	4.1	t	4.02	3.98	3.94	3.9
一般廃棄物排出量	1.01	t	0.99	0.98	0.97	0.96
総排水量	151	m ³	148	146	145	143
受託廃棄物収集運搬(一般+産廃)	5,200	t	5,356	5,408	5,460	5,512
顧客への提案	行動目標		問合せ対応・排出先への提案等			
環境苦情	0	回	0	0	0	0
グリーン購入	10	種類	10	10	10	10
地域貢献	3	回	3	3	3	3

注：期間は令和2年9月～令和3年8月までの12ヶ月間

5 環境経営活動計画

当社では、環境方針に基づき二酸化炭素、廃棄物、水使用量を削減し、環境目標を達成するため、従業員が一丸となって省エネルギー、廃棄物の削減・リサイクル及び節水等に取り組んでおります。

表3 主な環境経営活動計画の内容

項目	取組内容	
二酸化炭素排出量の抑制	照明	昼休みなど、部屋を使用していない時は、照明消灯を確実に実行する
		給湯室、社員用トイレ、倉庫、更衣室等不必要な時は、消灯している。
		事務室の部分照明を実行する。
	冷暖房	冷暖房の温度(冷房28℃、暖房20℃)を順守する。
		使用していない部屋は、空調を停止している
		ドアの開け放しはしない。
	節電	残業の時は、必要な個所のみ点灯し、業務に必要なない箇所は消灯する。
		昼休みなど、休憩時、不必要な個所は消灯する。パソコンの電源は切る。
		退社時は、OA機器の待機電源は切る。
	車輛その他	車輛のアイドリングストップを実践する。(昼休憩時、車輛は使用しない)
		排気ガス、騒音のレベルを抑えるため、適正な車輛整備を行う。(グリスアップ)
		最大積載量に見合った輸送単位の設定を行う。
渋滞・作業効率を考慮した収集ルートの見直しを図る。		
廃棄物の排出抑制	一般廃棄物	書類の内容やレイアウトを見直し、枚数を少なくする
		両面印刷、コピーを徹底する
		使用済み用紙(片面コピー)の裏面を利用する。
	産業廃棄物	産業廃棄物管理票をもとに適切な処理をおこなう
法令順守による廃棄物適正処理。		
排水	用水・排水	洗車後の排水溝の掃除を徹底
		節水の徹底
収集運搬	車輛の悪臭発生防止に努める(業務終了後の洗車及び維持管理の徹底)	
環境苦情・顧客への提案	問合せや排出先へ適正処理の提案	
グリーン購入	消耗品・事務用品はエコ商品を優先し購入する。 省エネ適合商品の適合に努める。	
社員教育	朝礼時において社員にEA21の取り組みの周知を図る。 車輛の事故防止に努める。	
地域貢献	地域行事での清掃活動を行う(上中島フェス、トラック協会、倫理法人会、岩手県産業資源協会等)	

6 環境経営目標の実績

当社では、環境目標の達成状況の確認・評価を行いました。

今回は、令和2年9月から令和3年8月までの実績についての評価結果を報告致します。

表4 当該年度の環境経営目標の達成状況等

項目	単位	令和1年度	前年比	当該年度(令和2年度)		目標比
		実績値	削減(増加)率 (%)	目標値	実績値	削減(増加)率 (%)
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	156,040	(1.7)	153,052	158,763	(3.7)
購入電力使用量	k w h	16,873	(0.9)	16,789	17,023	(1.4)
ガソリン使用量	L	4,868	2	4,771	4,747	0.5
軽油使用量	L	51,756	(2)	50,721	52,709	(3.9)
灯油使用量	L	129	(133)	126	301	(138.9)
産業廃棄物排出量	t	4.1	19	4.02	3.34	16.9
一般廃棄物排出量	t	1.01	(27)	0.99	1.28	(29.3)
総排水量	m ³	151	18	148	124	16.2
受託収集運搬量	t	5,200	0.7	5,356	5,164	3.6
顧客への提案	行動目標		問合せ対応・排出先への提案等			
環境苦情	回	0	0	0	0	0
グリーン購入	種類	10	0	10	10	0
地域貢献	回	3	3	3	3	0

注：期間は令和2年9月～令和3年8月までの12ヶ月間

環境経営活動の状況



東北ジュニアカップ協賛
環境に関する広告掲示贈呈



7 環境経営活動計画の取組結果とその評価、次年度以降の取組内容

1. 取組結果の評価

表5 主な環境経営活動計画の内容と取組結果

項目		実施状況の評価	達成度	次年度の取組内容
二酸化炭素排出量の抑制	照明	消灯等の取り組みは普段より定着	○	継続
	冷暖房	コロナ感染予防策として定期的室内換気により、一時的に冷暖房の設定温度を上回る稼働をしたこと加温器の使用により、使用電力が、前年度(0.9%)及び目標値(1.4%)の増加となった。冷暖房の設定温度を上げて使用した際に、元の設定に戻し忘れも増加の要因と推測される。	△	使用する際には、担当者が、設定を確認するように徹底を図る。
	節電	消灯及びPCの待機電源の切る等は定着	○	継続
	車両その他	軽油使用量が、前年度値(2%)目標値(3.9%)、灯油使用量が前年度値(133%)目標値(138.9%)の増加となった。社内のコロナ感染予防として、従業員間のソーシャルディスタンス確保の為、昼食、休憩は車両を使用、外での朝礼に共用スペースにブルーヒータを使用したことにより、軽油及び灯油の使用量増になったものと推測される。車両運行時には、タコメーター、運行記録よりエコドライブは徹底されているものと評価できる。	△	コロナ感染予防対策としての取り組みであり今後も継続とするが、車両運行時のエコドライブの徹底は実施していくものとする。
廃棄物の排出抑制	一般廃棄物	前年度値(27%)目標値(29.3%)の増加となった。コロナ感染予防として手洗い時に紙ペーパー使用、紙マスク着用の義務を実施したことが大きな要因のように推測される。事務所及び現場内における裏紙使用は定着が図られており消耗品の廃棄量の取り組みは実施されていた。	△	継続
	産業廃棄物	前年度値(19%)目標値(16.9%)の減となった。売り上げは、前年度を上回っていたが、排出量は目標値より低く押さえられていた。業務の内容により排出量は変動していく傾向にあり。	○	継続
節水・排水	用水・排水	前年度値(18%)減、目標値(16.2%)減と目標は達成されている。前年度は事務所の水漏れにより、数値が高くなっていたが今年度は、設備の確認をしており、水漏れ等は確認されていない。また、洗車時、手洗い時にも締め忘れもなく節水が取り組まれている。	○	継続
受託収集運搬		前年度値(0.7%)減、目標値(3.6%)減と年々減少傾向にある。委託一般廃棄物に関しては、人口減少・資源化により減少傾向であり、事業所に関してはコロナにおける事業活動の縮小化によりものと推測される。目標値は、毎年1%増での設定となっているが、現状を踏まえると減少傾向にあることから、目標値の再設定が必要と思われる。	○	継続
環境苦情・顧客への提案		今年度の環境苦情はなかった。提案に関しては、市民及び各事業者よりの問合せ等に適正処理方法についての提案を実施。また、定期回収の事業所についても併せて提案等を実施した。	○	継続
グリーン購入		・事務用品、消耗品を購入した。	○	継続
社員教育		・外部作業における安全講習参加、社内における安全運転及びエコドライブの研修伝達を実施。	○	継続
地域貢献		・例年であれば地域行事等に参加しているが、県内、市内でのコロナ感染拡大により、各行事等は中止となっている。また、周辺の清掃活動に関しても密となる場面がある為に、自粛することとした。地域貢献の一環として、安定したサービスの提供を目標に社内でのコロナ感染予防対策を徹底し、今年度は感染者もなく無事にサービスを提供することができた。社員個々にも感染予防の意識をもって取り組むことができていた。 ・SDGs 活動の一環として、岩手県産業資源循環協会青年部主催「全国一斉清掃活動「海ごみゼロウィーク」」参加。東北ジュニアカップに協賛し、子供達のスポーツ事業を支援。近隣小学校への環境に関する広告掲示版の贈呈。	○	継続

注：評価は各部門の環境責任者が、日々の実施状況を観察し、○：確実に実施されている。

△：ほぼ実施されている。×：社員の取組忘れに対する注意が多かった。を判断し、評価。

2. 次年度以降の重点取組み

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大が県内及び市内でも確認されたことから、社内における感染予防対策に重点を置いて取り組んできた。その一つとして、従業員間のソーシャルディスタンス確保の為に、休憩・昼食を車両を使用することとした。車両を使用する上で当然のことであるが、アイドリング量の増加による軽油の消費量の増加となってしまった。弊社の主軸となる業務は市の委託業務であり、社内でのクラスター発生による業務停止は、売上への影響も大きいものであり、環境活動に取り組む上では、苦肉の策であったが、上記の感染予防対策を優先させることとした。現在まで、社内での感染者等もなく業務を回すことができ、売り上げも前年度を上回りコロナ過でありながらも経営的にも安定することができた。今後も、上記の取り組みはしばらく継続となっていくこととなるが、次年度の重点取り組み事項として、季節、気温に応じた車両の使用方法について具体的に提示(車両エアコンの温度設定、アイドリングの時間制限等)軽油使用量を今年度を下回ることを目標に取り組みしていくこととする。また、エコドライブに関しても、昨年から軽油の増加量を伝えと共に現行の取り組みに対して昨年以上に意識して取り組むよう社内での伝達・研修を取り組んでいくものとする。

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有

当社が法的義務を受ける環境関連法規について遵守状況をチェックしたところ違反はありませんでした。

また、過去3年間、関係当局からの違反等の指摘、住民等からの苦情、訴訟等について、問題がありませんでした。

9 代表者による全体評価と見直しの結果

見直し項目	評価	改善及び指示
1 環境経営方針	新型コロナウイルスの影響もあるが、概ね実施されているものと評価している。	現在の取り組みを継続とする。
2 環境経営目標	今年度においては、各項目での前年を上回る消費量であったが、新型コロナウイルス感染予防における対策によるものであり、収束の間は、必要経費として消費量の増は仕方がないものであると評価している。	現在の取り組みを継続とするが、コロナ収束までの間、軽油使用量に関しては前年度値を下回るところを目標とする。
3 環境経営活動計画及び実施体制	地域貢献活動について新型コロナウイルスの影響で減少傾向となった。弊社としては、コロナ感染者もなく、対策を徹底し安心・安全な市民サービスを提供できたものと評価している。	現在の取り組みを継続とする。
4 その他 ()		
5 全体評価	全体を通して燃料・電力・水道の数値が増加傾向であったが、背景には新型コロナウイルスへの対策によるものであった。今後も、感染予防対策は継続となるが、現行の取り組み方法等を適宜見直し感染予防策と併せて環境負荷の軽減も図っていくこととした。また、地域貢献については、コロナ過で各行事が中止となり活動として実施することは殆どできなかったが、弊社としては、安心安全のサービス提供も地域貢献の一環として、社内の感染予防対策を優先的に取り組んできた。現在までは、感染者もなく安定したサービスが提供できたものと評価している。今後、新型コロナウイルスの感染拡大状況により各取り組みが制限されてくることも予想されるが、環境経営方針を軸に事業を運営していくものとする。	

10 廃棄物業関連・組織の概要(情報公開)

事業所名		有限会社新菱和運送				
代表者名		代表取締役 宮田 キナエ				
所在地		岩手県釜石市上中島町4丁目3番7号				
環境管理責任者		鈴木善太郎				
エコアクション2.1担当者		鈴木善太郎				
連絡先	電話	0193-23-3888		FAX	0193-25-2733	
	E-mail	sinryowa@io.ocn.ne.jp				
	UCL					
事業活動の内容		一般廃棄物収集運搬業 産業廃棄物収集運搬業(特別管理も含む)				
事業計画の概要		釜石市の一般廃棄物収集運搬の委託業務及び釜石市、大槌町の一般廃棄物収集運搬、産業廃棄物収集運搬を主とした事業				
事業の範囲		営業範囲：一般廃棄物(釜石市、大槌町) 産業廃棄物(岩手県) *特別管理も同様				
事業の規模	事業年度	平成29年	平成30年	令和1年	令和2年	
	売上高(百万円)	235	240	249	251	
	受託収集運搬 t(産廃)	276	506	306	370	
	受託収集運搬 t(一般)	5,380	5,157	4,895	4,795	
	従業員(名)	28	28	28	28	
法人設立年月日	昭和37年12月		資本金	500	百万円	
許可の内容	許可名/許可番号	年月日		事業区分、廃棄物の種類		
	一般廃棄物処理業 (釜石第1494号)	許可 有効	令和2年4月1日 令和4年3月31日	一般廃棄物の収集運搬		
	一般廃棄物処理業 (大槌第1150号)	許可 有効	令和2年9月21日 令和4年9月20日	一般廃棄物の収集運搬		
	産業廃棄物収集運搬業 (岩手00306006607)	許可 有効	令和2年2月13日 令和7年2月12日	燃え殻・汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ・廃プラスチック・紙くず・木くず・繊維くず・動植物性残さ・金属くず・ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く)・がれき類・水銀使用製品 積替え保管を含むもの 無		
	特別管理産業廃棄物収集運搬業 (岩手00356006607)	許可 有効	平成30年8月16日 令和5年8月11日	廃油(揮発油類、灯油類及び軽油類に限る)・感染性産業廃棄物 積替え・保管を含むもの 無		
		許可 有効				
		許可 有効				
設備	設備名	能力・産廃の種類	台数	設備名	能力・産廃の種類	台数
	塵芥車	最大積載量1,750kg	1	トラック幌	最大積載量2,000kg	1
	塵芥車	最大積載量2,000kg	1	トラック幌	最大積載量2,000kg	1
	塵芥車	最大積載量2,700kg	1	トラック幌	最大積載量3,000kg	1
	塵芥車	最大積載量2,650kg	1	トラック箱	最大積載量2,000kg	1
	塵芥車	最大積載量2,250kg	1	トラック箱	最大積載量2,000kg	1
	塵芥車	最大積載量1,700kg	1	4tユニック車	最大積載量3,000kg	1
	塵芥車	最大積載量1,600kg	1	7tユニック車	最大積載量7,600kg	1
	塵芥車	最大積載量1,750kg	1	軽トラック	最大積載量350kg	1
	塵芥車	最大積載量1,950kg	1	軽トラック	最大積載量350kg	1
	塵芥車	最大積載量1,950kg	1	軽トラック	最大積載量350kg	1
	塵芥車	最大積載量2,000kg	1			

収集運搬物・処理物		受入基準
廃棄物受入基準	一般廃棄物収集（可燃物）	50cm×50cm以下のもの
	一般廃棄物収集（資源物）	金属製品（缶含）、びん類、小型家電、紙類を各種類毎分別し
	一般廃棄物収集（粗大）	長さが50cm以上のもの
	産業廃棄物 廃油	密閉容器に入れ、漏洩のないこと
	産業廃棄物 廃プラスチック	混合物、付着物のないこと
	産業廃棄物 紙くず	混合物、付着物のないこと
	産業廃棄物 木くず	混合物、付着物のないこと
	産業廃棄物 動植物性残さ	混合物、付着物のないこと
	産業廃棄物 金属くず	混合物、付着物のないこと
	産業廃棄物 ガラス・コンクリ陶	混合物、付着物のないこと
	産業廃棄物 がれき類	混合物、付着物のないこと
	<p>廃棄物の処理料金については弊社電話0193-23-3888にお問い合わせ下さい。</p>	

受託した廃棄物の処理量

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	令和1年収集運搬 t	令和2年収集運搬 t
産業廃棄物 収集運搬	廃油		1.08	1.84
	廃プラスチック		181.067	238.070
	紙くず		0	0
	木くず		87.51	88.12
	動植物性残渣		0.0	2.3
	金属くず		0.813	1.460
	ガラス・コン・陶磁器くず		1.22	2.42
	がれき類		0	2
特管産廃運搬	感染性		34	34
一般廃棄物 収集運搬	可燃物		4,895	4,795
収集運搬量合計			5200.7	5164.7